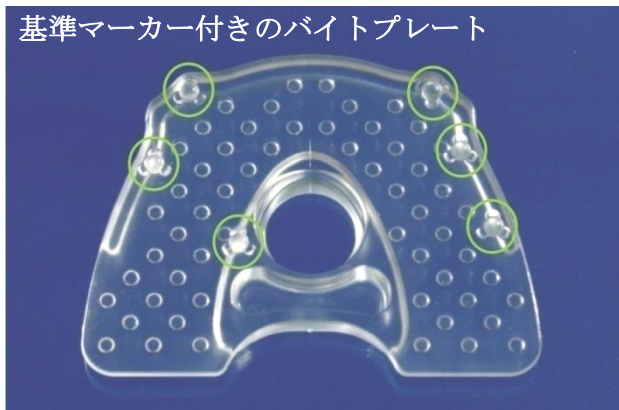
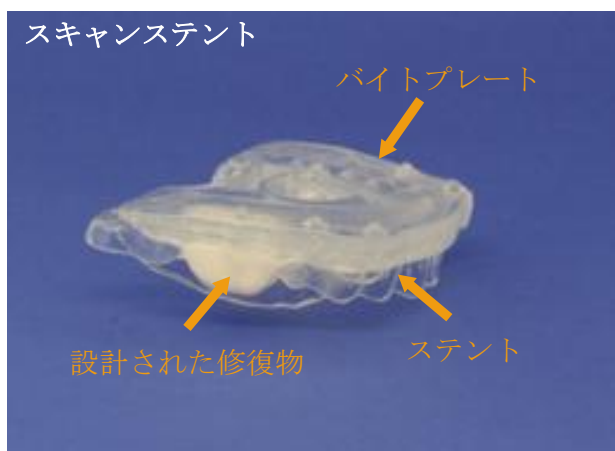


基準マーカ付きのバイトプレート



スキャンステント



サージカルガイド



SICATを使用して、さらにスキャンステントを加工することにより、正確なサージカルガイドを作製できます。

GALILEOSスキャンステントの製作手順

必要なもの:

1. 硬質で弾力性があり、透明で、アクリルに接着可能な熱成形ホイル (厚さ: 2.0 mm) ¹
2. 熱成形装置
3. 常温硬化性アクリル
4. 硫酸バリウム粉末²²



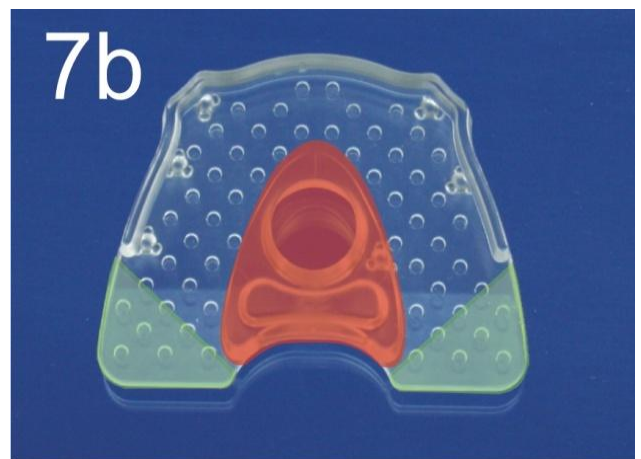
歯科学的用途が承認された素材のみを使用してください。

インプラント技師から受け取るもの:

1. 患者の顎の印象または石こう模型
2. 基準マーカ付きのGALILEOSのバイトプレート



硬質で弾力性があり、透明で、アクリルに接着可能な熱成形ホイルのみを使用してください。熱成形終了後、断熱ホイルを取り外して、バイトプレート、熱成形ステント、設計されたステントをしっかりと密着させてください。



1.石こう模型を製作し、ワックスアップを行います。梱包物の高さに制約があるため、石こう模型の高さは4cmを超えないようにしてください。



スキャンステントをぴったりはめ込むには、印象、石こう模型、サージカルガイドの品質が重要です。これらにより、正確にインプラントを配置できます。

- 2.石こう模型を制作して、ステントにワックスアップを行います（ホイルの厚さは、2.0mm）。後で、ステントからワックスアップを取り外します。
- 3.アンダーカットを遮断します。分離剤、石こうまたはレジンで隔離します。
- 4.常温硬化性アクリルと15%の硫酸バリウム（ポリマーの重量との比率）を混合します。硫酸バリウムとアクリルが均質に混ざり合い、塊ができないようにしてください。
- 5.硫酸バリウムとアクリルの混合物を、ステントのワックスアップを取り外した場所に挿入します。
- 6.設計された修復物は、粘膜にぴったり密着することが必要です。
- 7a.常温硬化性アクリル（硫酸バリウムは入れない）を、ペースト状になるまで少量混ぜます。ステントの上部表面をエッチング処理するために、常温硬化性アクリルの溶液をブラシに付けてステントに塗ります。バイトプレートにアクリルを均質に流し込みます。アクリルは、バイトプレートとステントの結合剤として使用するだけでなく、スキャンステントの固定にも使用するため、適切なアクリルを使用してください。
- 7b.小さい顎の場合、緑色の印が付けられた領域でバイトプレートを短くすることができます。



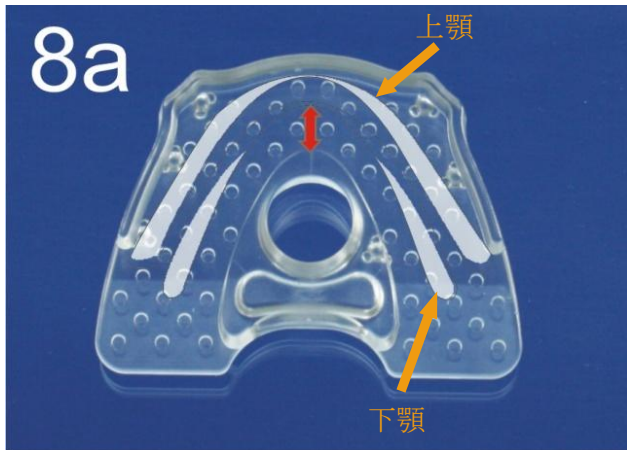
切断できるのは、緑色の印が付けられた領域のみです。



基準マーカ―を、アクリルで覆ったり、変更したりしないでください。



中央の三角形と赤色で印を付けた円形の開口部を、アクリルで覆ったり、変更したりしないでください。



- 8a.上顎にスキャンステントを使用する場合、ステントをバイトプレートの前側に配置します。下顎にスキャンステントを使用する場合は、ステントをバイトプレートの中央の領域に配置します。
- 8b.ステントを石膏キャストの上に配置し、重合するまで、バイトプレート上のアクリルに押し込みます。スキャンステントが、しっかりと配置され、石膏模型に正確にフィットしていることを確認します。



GALILEOSバイトプレートのみを使用してください



スキャンステントが正しくフィットし、安定していることを確認してください。バイトプレート、ステント、および設計された修復物は、機械的ひずみに対応できることも必要です。歯科用レジンは、完全に硬化していることが必要です。

SICAT.

SICAT GmbH & Co. KG
Brunnenallee 6
53177 Bonn
Germany
Tel. +49 228 854697-12
Fax +49 228 854697-59
E-Mail SGL@sicat.com